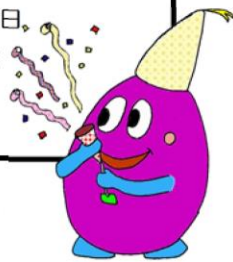




# 古都っ子だより

令和6年11月28日  
岡山市立古都小学校

《心豊かにたくましく生きる児童の育成》元気な子 やさしい子 考える子



## やる気につながる...学びのチャンス

3年生は総合的な学習の時間に地域の方にご指導いただいて、ぶどう（ピオーネ）を栽培しています。「今年もおいしいぶどうが収穫できたことへのお礼の気持ちを伝えよう」と、地域でぶどう農家を営まれているゲスト・ティーチャーの西崎先生と岡田先生を招待して「ぶどうパーティー」を開きました。

「どうすれば感謝の気持ちや学習を通じて分かったことを伝えることができるか」について、子どもたちは時間をかけて話し合ったそうです。「いろいろな作業を体験したこと」「学習のために多くの準備をしていただいたこと」「栽培や見学を通じて学んだこと、感じたこと」など、今までの学習を振り返りながら「学習の成果や感謝の気持ちを先生方に伝える方法」を形にしていっていったということでした。



↑ぶどうの「糖度」ゲーム



↑古都の「ぶどう栽培」ペープサート劇で発表中↑



↑難問多数「ぶどうクイズ」

私も当日のパーティーの様子を参観させていただきました。「タブレット端末を使った参加型クイズ」「ゲームとクイズを合わせた発表」「学習したことをもとにしたお芝居」など、どの発表からも子どもたちが熱心に準備をした様子が伝わってきました。ぶどう専門家であるお二人が唸るほど高度な内容のクイズもあり、驚かされる一幕もありました。先生方からは子どもたちに向けて「古都のぶどうに興味をもってくれてうれしいです」「皆さんの学習に役に立ってよかったです」とうれしいお言葉をいただき、子どもたちは満面の笑顔でした。地域の方と関わりながら数多くの体験的な活動をさせていただく機会がたさを感じました。子どもたちの学習の記録を見せてもらうと、どのまとめにも下に挙げるような言葉が書きこまれ、「指導していただいた先生への感謝」だけでなく、「自他のよさ・努力の大切さへの気付き」「充実感、学習意欲の高まり」等、学習を通じた子どもたちの成長が伝わって来ました。

感謝の言葉がうれしかった。

役割を考えて話し合った。

気持ちを一つにしてやった。

物語を本気で考えた。

練習してよかった。



↑パーティー大成功！の記念写真

友達がクイズのいい考えを出してくれた。

楽しくできてよかった。

工夫するのは楽しい。

もっとぶどうのことを知りたい。

伝えることは楽しい。

岡山市の小学校では「やる気につながる好奇心」を合言葉に、ものごとに対する素朴な疑問や興味・関心など、子どもたちが学習に向かう原動力を大切にされた教育の実践を進めています。さまざまな事象に対して、子どもたちは「疑問」「興味・関心」を示します。これを私たち大人が見逃さないようにし、子どもたちの学習の原動力としていこうとする取組です。3年生が友達と協力し「もっと知りたい」「学びたい」と熱心に工夫を重ね、意欲的に学んでいこうとする姿がこの言葉と重なったので、学校だよりのトピックとさせていただきました。

裏面に続く